

Rexroth ボール レール システム

製品概要 ハイ スピード ランナー ブロック

新型ランナー ブロックの傑出した特長

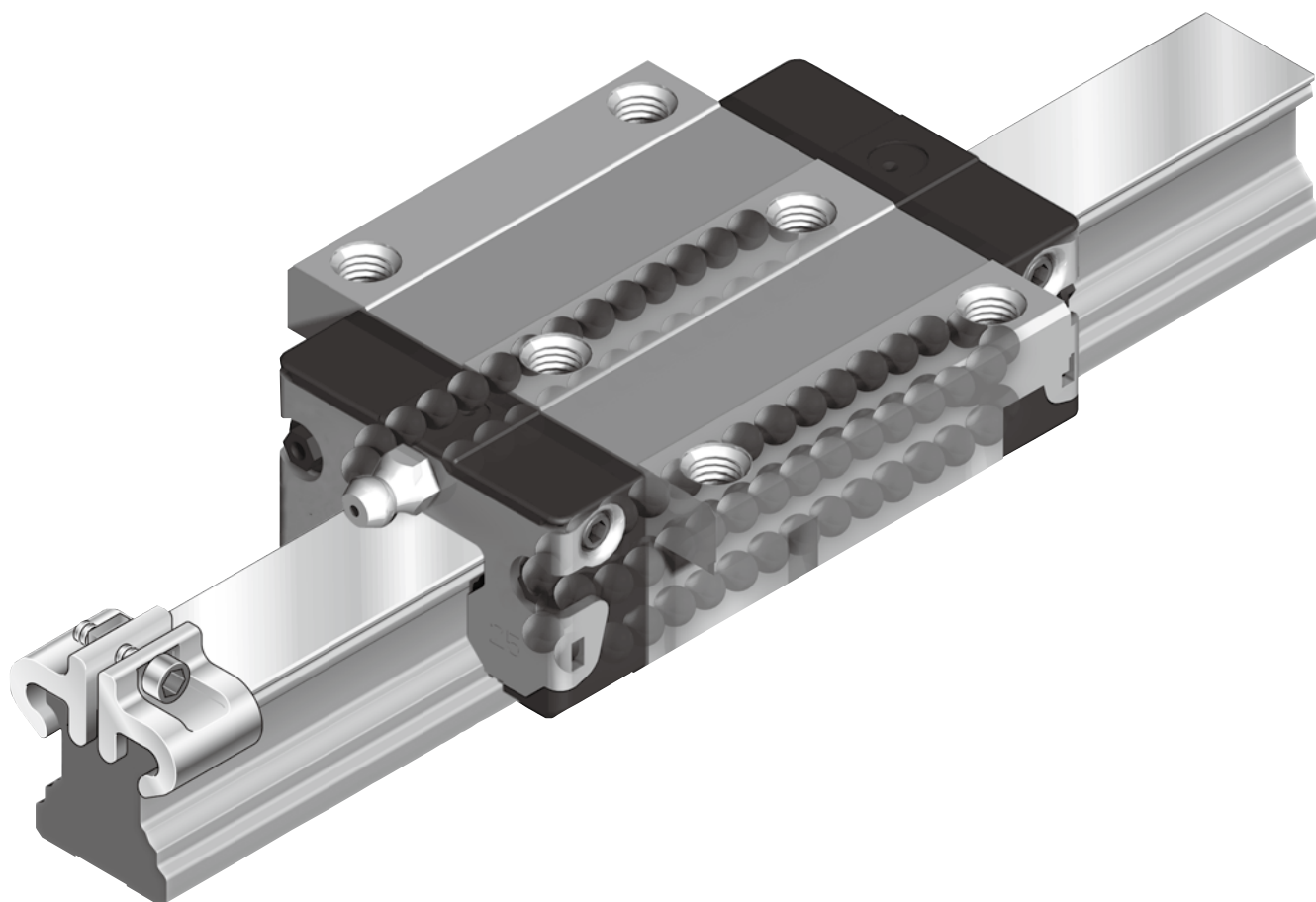
- 抜群の動的特性。 $v_{max} = 10 \text{ m/s}$; $a_{max} = 500 \text{ m/s}^2$
- 主要荷重方向 4 方向すべてに最高の基本定格荷重を実現
- 潤滑サイクルは使用条件により数年に及ぶことも可能
- オイル潤滑の場合、タンク付き潤滑システムで最小限の潤滑量
- 各面の潤滑取付け口は金属ねじにより大幅に強化
- ガイド レールは標準化されているため、カバー バンドの有無に関わらずあらゆるタイプのランナー ブロックに互換
- 予圧をかけた O パターンの配列により、最高のシステム剛性
- 絶縁されているのはセラミック ボールを使用しているため
- 従来の付属品目がすべて使用可能
- 世界に類のないトップ・ロジスティックス

そのほかの特長：

- 低重量のセラミック ボールによるハイ スピード運転
- ランナー ブロックは上からでも下からでもねじ止め可能*
- 逆ラジアル荷重と横方向荷重がある場合には、ランナー ブロック中央のねじ穴 2 箇所からねじ止めを追加することにより剛性が向上*
- ランナー ブロック端面に付属パーツの固定用ねじ
- すべての荷重方向に高剛性、従ってランナー ブロック 1 台でも使用可能
- 全体を密閉する組込みシール
- 高い耐トルク荷重性
- 弾性変位量が極めて少ないのは、理想的なボール配列とボール数が多いため
- 理想的なボール循環とボール案内による静かでスムーズな走行
- 各種予圧等級
- 5 サイズを提供

*一部の型番を除きます。

10 m/s までのハイスピード用



ハイスピードランナーブロック

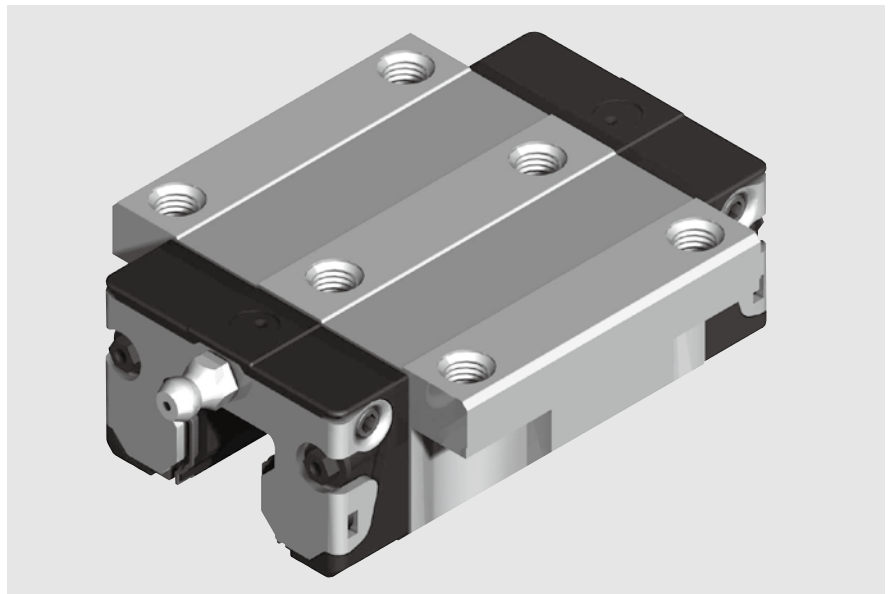
ランナーブロック FNS
R2001

フランジ、ノーマル、スタンダード高さ
ハイスピード仕様

動的特性

速度 $v_{\max} = 10 \text{ m/s}$

加速度 $a_{\max} = 500 \text{ m/s}^2$



精密ランナーブロック

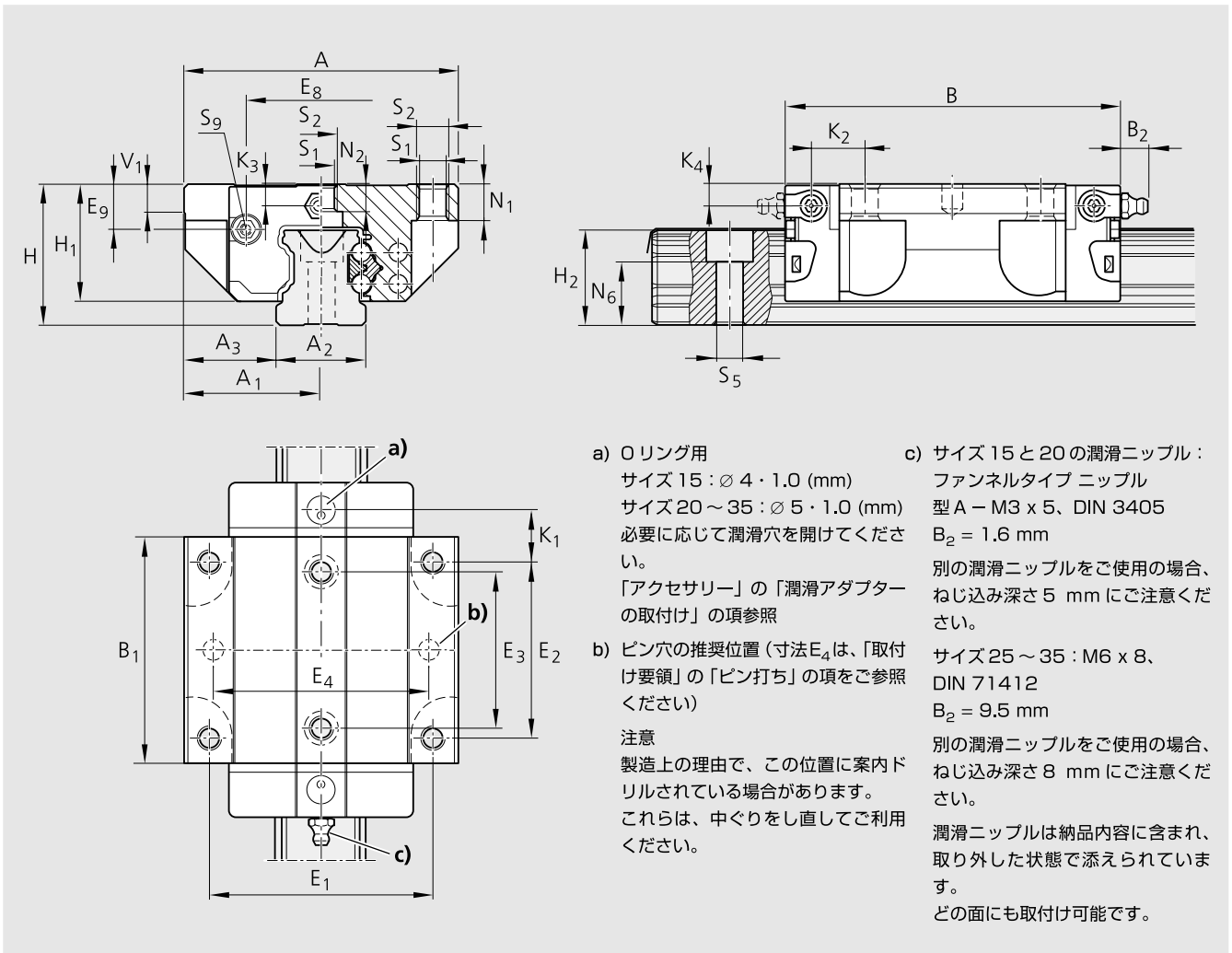
— 初期潤滑済み

サイズ	精度等級	予圧等級と品番 C2
15	H	R2001 123 90
	P	R2001 122 90
20	H	R2001 823 90
	P	R2001 822 90
25	H	R2001 223 90
	P	R2001 222 90
30	H	R2001 723 90
	P	R2001 722 90
35	H	R2001 323 90
	P	R2001 322 90

予圧等級

C2 = 予圧 8% C

詳細なテクニカル データは「一般技術データ及び計算」の章をご参照ください。



寸法 (mm)																				
サイズ	A	A ₁	A ₂	A ₃	B	B ₁	H	H ₁	H ₂ ¹⁾	H ₂ ²⁾	V ₁	E ₁	E ₂	E ₃	E ₈	E ₉	K ₁	K ₂	K ₃	K ₄
15	47	23.5	15	16.0	58.2	39.2	24	19.90	16.30	16.20	5.0	38	30	26	24.55	6.70	8.00	9.6	3.20	3.20
20	63	31.5	20	21.5	75.0	49.6	30	25.35	20.75	20.55	6.0	53	40	35	32.50	7.30	11.80	11.8	3.35	3.35
25	70	35.0	23	23.5	86.2	57.8	36	29.90	24.45	24.25	7.5	57	45	40	38.30	11.50	12.45	13.6	5.50	5.50
30	90	45.0	28	31.0	97.7	67.4	42	35.35	28.55	28.35	7.0	72	52	44	48.40	14.60	14.00	15.7	6.05	6.05
35	100	50.0	34	33.0	110.5	77.0	48	40.40	32.15	31.85	8.0	82	62	52	58.00	17.35	14.50	16.0	6.90	6.90

1) 寸法 H_2 はカバー バンド付き。 2) 寸法 H_2 はカバー バンドなし。

サイズ	寸法 (mm)								基本定格荷重 (N) ³⁾		許容モーメント (Nm)			
	N ₁	N ₂	N ₆ ^{±0.5}	S ₁	S ₂	S ₅	S ₉	重量 (kg)	C 動	C ₀ 静	M _t 動	M _{t0} 静	M _L 動	M _{L0} 静
15	5.2	4.4	10.65	4.3	M5	4.4	M2.5 深さ3.5	0.20	6 880	8 860	66	85	47	61
20	7.7	5.2	13.35	5.3	M6	6.0	M3 深さ5	0.45	16 300	20 800	210	270	140	180
25	9.3	7.0	15.55	6.7	M8	7.0	M3 深さ5	0.60	20 000	25 100	280	360	200	250
30	11.0	7.9	17.35	8.5	M10	9.0	M3 深さ5	1.05	25 500	33 500	440	580	310	400
35	12.0	10.2	20.85	8.5	M10	9.0	M3 深さ5	1.50	36 200	56 500	780	1 210	510	790

3) 基本定格荷重の基準
 基本動定格荷重 C の算出に当って、DIN 636 に基づき走行距離 (ストローク行程) 100,000 m を基準にしています。
 ただし 50,000 m を基準にしていることもよくあります。その場合、表の値 C、M_t、M_L に 1.26 を乗じて調整してください。

ハイスピードランナーブロック

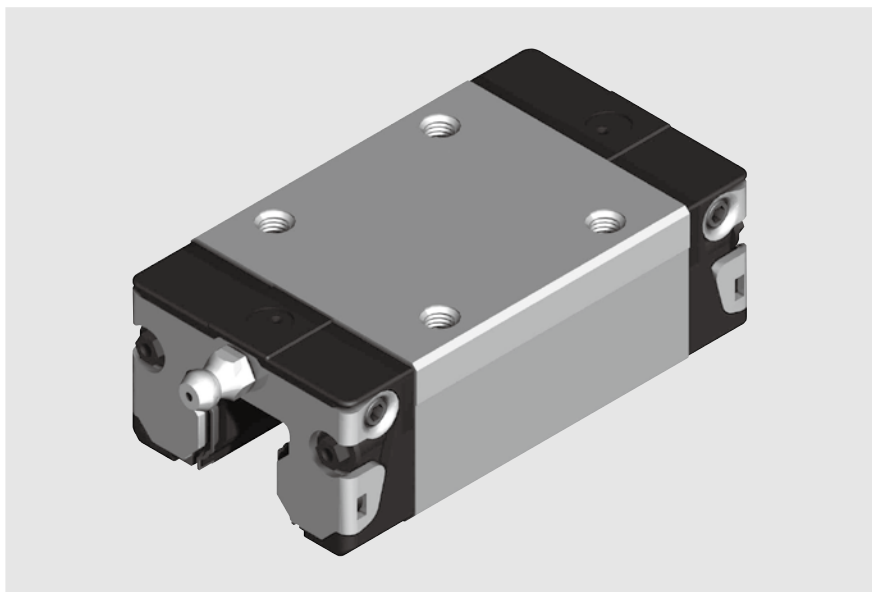
ランナーブロック SNS R2011

スリム、ノーマル、スタンダード高さ
ハイスピード仕様

動的特性

速度 $v_{\max} = 10 \text{ m/s}$

加速度 $a_{\max} = 500 \text{ m/s}^2$



精密ランナーブロック

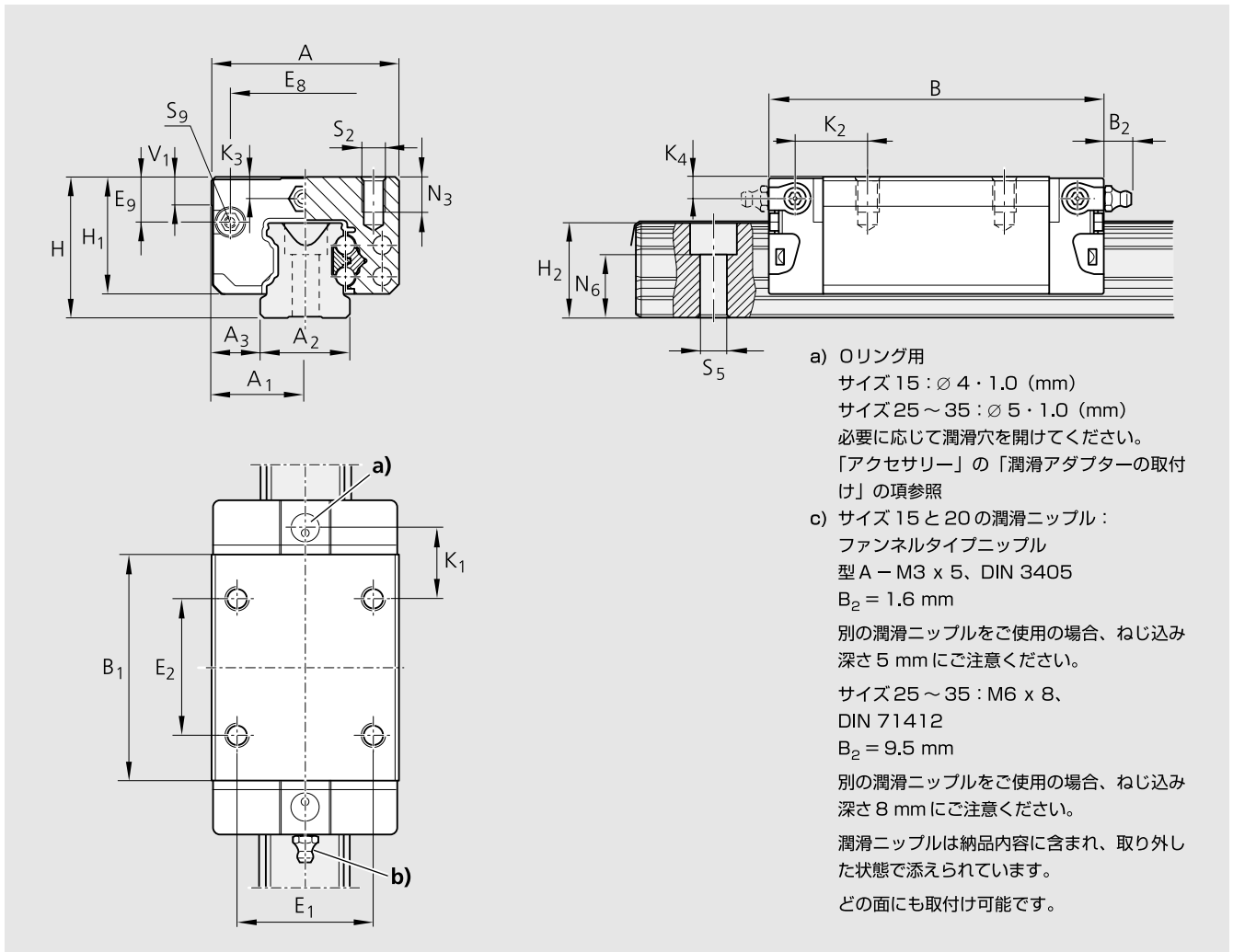
— 初期潤滑済み

サイズ	精度等級	予圧等級と品番 C2
15	H	R2011 123 90
	P	R2011 122 90
20	H	R2011 823 90
	P	R2011 822 90
25	H	R2011 223 90
	P	R2011 222 90
30	H	R2011 723 90
	P	R2011 722 90
35	H	R2011 323 90
	P	R2011 322 90

予圧等級

C2 = 予圧 8% C

詳細なテクニカル データは「一般技術データ及び計算」の章をご参照ください。



寸法 (mm)																			
サイズ	A	A ₁	A ₂	A ₃	B	B ₁	H	H ₁	H ₂ ¹⁾	H ₂ ²⁾	V ₁	E ₁	E ₂	E ₈	E ₉	K ₁	K ₂	K ₃	K ₄
15	34	17	15	9.5	58.2	39.2	24	19.90	16.30	16.20	5.0	26	26	24.55	6.70	10.00	11.60	3.20	3.20
20	44	22	20	12.0	75.0	49.6	30	25.35	20.75	20.55	6.0	32	36	32.50	7.30	13.80	13.80	3.35	3.35
25	48	24	23	12.5	86.2	57.8	36	29.90	24.45	24.25	7.5	35	35	38.30	11.50	17.45	18.60	5.50	5.50
30	60	30	28	16.0	97.7	67.4	42	35.35	28.55	28.35	7.0	40	40	48.40	14.60	20.00	21.70	6.05	6.05
35	70	35	34	18.0	110.5	77.0	48	40.40	32.15	31.85	8.0	50	50	58.00	17.35	20.50	22.00	6.90	6.90

1) 寸法H₂はカバーバンド付き。

2) 寸法H₂はカバーバンドなし。

サイズ	N ₃	寸法 (mm)				重量 (kg)	基本定格荷重 (N) ³⁾		許容モーメント (Nm)			
		N ₆ ^{+0.5}	S ₂	S ₅	S ₉		C 動	C ₀ 静	M _t 動	M _{t0} 静	M _L 動	M _{L0} 静
15	6.0	10.65	M4	4.4	M2.5 深さ3.5	0.15	6 880	8 860	66	85	47	61
20	7.5	13.55	M5	6.0	M3 深さ5	0.35	16 300	20 800	210	270	140	180
25	9.0	15.55	M6	7.0	M3 深さ5	0.45	20 000	25 100	280	360	200	250
30	12.0	17.35	M8	9.0	M3 深さ5	1.80	25 500	33 500	440	580	310	400
35	13.0	20.85	M8	9.0	M3 深さ5	1.15	36 200	56 500	780	1 210	510	790

3) 基本定格荷重の基準

基本動定格荷重Cの算出に当って、DIN 636に基づき走行距離(ストローク行程) 100,000 mを基準にしています。ただし 50,000 mを基準にしていることもよくあります。その場合、表の値C、M_t、M_Lに1.26を乗じて調整してください。